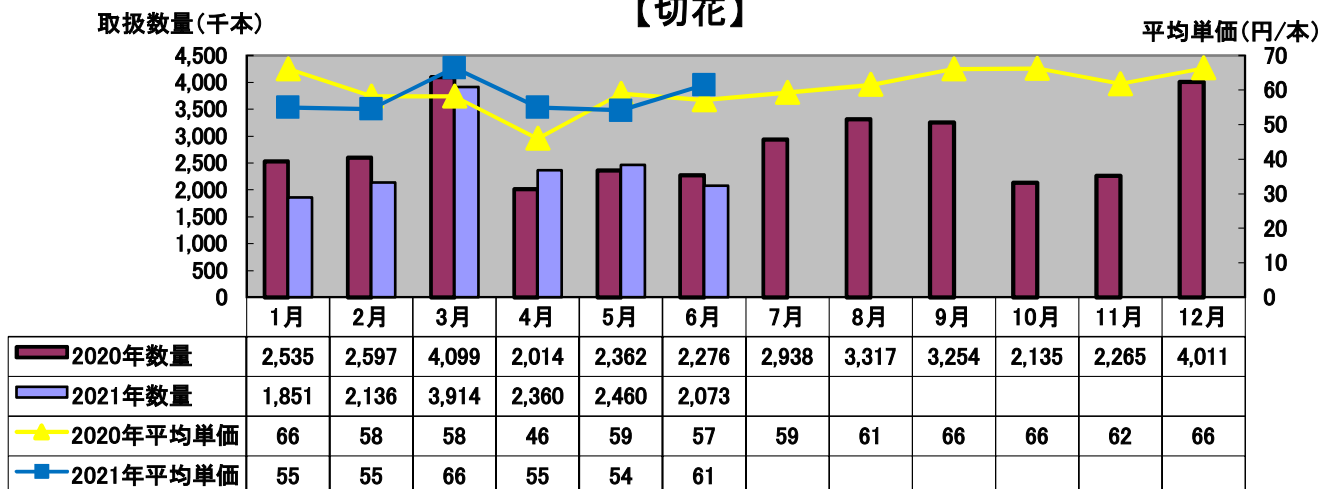


令和3年(2021年)6月 花き部 種類別市況

【切花】



...市況の概況...

6月の切花類は高湿の影響により、入荷量はやや減少しました。
平均単価はやや高く推移しました。

...主要品目の市況の概況...

キクは、愛知県・長崎県が主要産地です。今年は高冷地産地が主力となり、入荷量はやや減少しました。
平均単価は前年並みで推移しました。

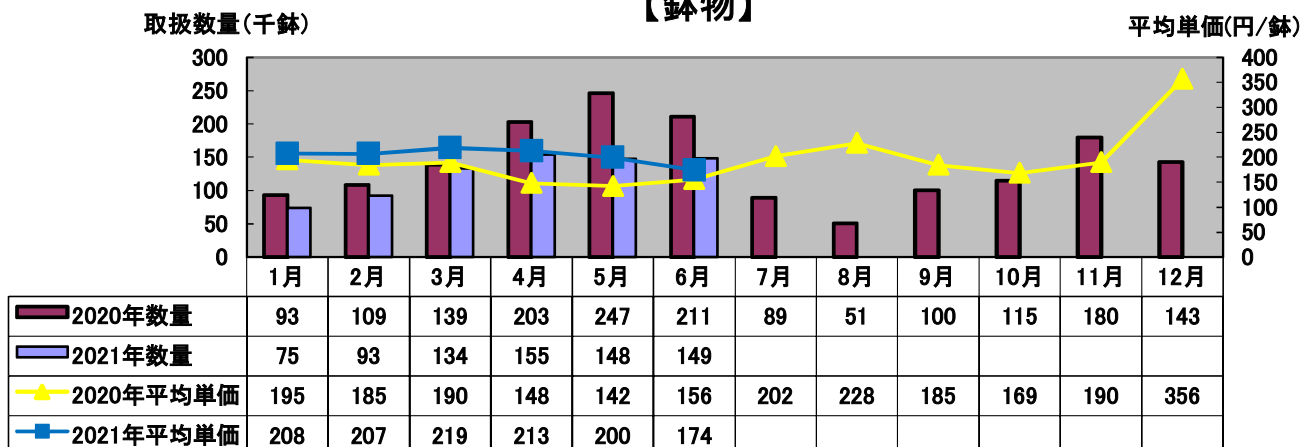
バラは、群馬県・愛知県・岡山県が主要産地です。高湿の影響により、入荷量は減少しました。
平均単価はやや安く推移しました。

カーネーションは北海道・コロンビアが主要産地です。作柄が良く、入荷量は増加しました。
平均単価はやや高く推移しました。

かすみ草は、福島県・北海道が主要産地です。入荷量はやや増加しました。
平均単価はかなり高く推移しました。

グラジオラスは、茨城県が主要産地です。作柄が良く、入荷量は増加しました。
平均単価はかなり高く推移しました。

【鉢物】



...市況の概況...

6月の鉢物類は、遅い入梅の影響もあり、入荷量はかなり減少しました。
平均単価は高く推移しました。

...主要品目の市況の概況...

ペゴニアは、神奈川県が主要産地です。高湿のため生育が良く、入荷量はかなり増加しました。
平均単価は高く推移しました。